



No.120
(2025/3/1)

編集・発行：**教 育 課**

串本町サンゴ台690番地5

TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



表紙文化財紹介

熊野古道大辺路

だいじょうみょう てん とう

大辺路「大乘妙典塔」

町指定文化財 記念物(史跡)

平成21年3月30日指定

今月号の表紙は、熊野古道大辺路 逢坂峠「大乘妙典塔」です。

逢坂峠の頂上部には、大乘妙典塔が2基、墓石が1基建てられています。大乘妙典とは一般的に法華經(妙法蓮華經)の事を意味し、大乘妙典塔の下には法華經の文字の書かれた小石が収められています。

熊野古道はこの石塔群沿いに通っていたと思われますが、道路の造成にともなって既になくなっており、石塔群に行くには稲村崎の先端に向かう舗装路に架けられた稲村橋のたもとから入ることになります。



令和7年 二十歳の集い

1月3日、13時から串本町文化センターにおいて、「令和7年二十歳の集い」を開催しました。

式典には、対象者100名のうち、男性32名、女性30名の計62名が色鮮やかな振袖、スーツや羽織袴で出席しました。

式典では実行委員会の喜田彪夷さん^{ただひょうい}と武田花さん^{はな}が、司会進行役を務めました。田嶋町長の式辞、鈴木町議長、佐藤県議会議員の祝辞の後、坂本教育長が岸本県知事からの祝電メッセージを披露しました。その後、参加者を代表して、田沼想太さん^{たぬまそうた}が「誓いの言葉」を読み上げました。

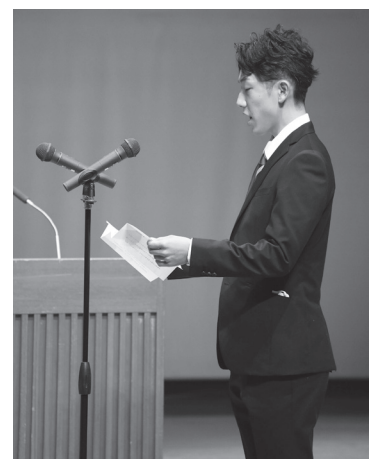
田嶋町長は「『ローマは一日にしてならず』ということわざのとおり、大きな目標は簡単には達成できない。挫折することがあってもそれを糧に、目標に向かうロケットのように皆さんも大きく羽ばたいてほしい。」とエールを送り、田沼さんは「永きにわたるトルコ国との友好や民間初のロケット事業など故郷が注目されることを嬉しく思います。この町で育ったことを誇りに力強く生きていきたいと思います。」と誓いの言葉を述べました。

式典後は音楽ユニット ヤブシンによるアトラクションや、町立体育館で記念撮影が行われ、参加者は久しぶりの再会を喜び、笑顔で晴れの門出を祝っていました。



二十歳の集い 会場

日時 令和7年1月3日(金)
午後1時 開式



第20回 年始少年剣道大会

1月29日町立体育館において、第20回串本町年始少年剣道大会が開催されました。小学生から中学生までの8名が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。

各部門の結果は次のとおりです。

【小学生低学年の部】

優勝 須藤 乃愛(串本小4年)
準優勝 渡司 桃子(潮岬小3年)
敢闘賞 岡内 将 (橋杭小4年)

【小学生高学年の部】

優勝 稲田 琉空(大島小6年)
準優勝 渡司 陽菜(潮岬小6年)
敢闘賞 西崎 彩人(西向小6年)

【中学生の部】

優勝 河田 舞耶(南部中2年)
準優勝 中山 歩音(串本中1年)



年始少年剣道大会参加者

ナンタンキヤンプ情報

1月22日から1月29日まで、サンゴ台の総合運動公園で、松本山雅FCがキャンプを行いました。

松本山雅FCは長野県松本市などをホームタウンとする1965年に結成された歴史あるプロサッカーチームでJ3リーグに所属し、現在の監督は早川知伸さんが務めています。気候が温暖なことやトレーニング環境、宿泊施設が集約されていることから串本をキャンプ地に選定し、J2昇格を目標に、体力づくりや戦術的なチームづくりを行いました。



松本山雅FCとアルテリヴォ和歌山のトレーニングマッチ

星空ライブラリー開館 オープニングセレモニー

旧古座分庁舎の改修工事に伴い、一時閉鎖されていた古座図書室が「星空ライブラリー」としてリニューアルされ、11月11日図書の貸出しが開始されました。

この日は、Soraimiru(ソラミル)内に移転した三十三銀行古座支店も営業開始となったことで、合同でのオープニングセレモニーが開催。

上野山こども園の年長園児23名を招待して行われた式典で、坂本教育長は「宇宙と地域、学びが包括され



セレモニーでのテープカット

たダイナミックな施設となった。本を読むだけでなく、憩いの場としても多くの皆さんにご利用いただきたい」と挨拶。

式典の締めくくりには坂本教育長、三十三銀行の熱田常務、上野山こども園代表園児によるテープカットが行われ、式典後の読み聞かせ会では、「串本ぶつくらぶ」の奥さんの読み聞かせを、子どもたちはたのしく笑顔で聞いていました。

星空ライブラリーは、蔵書約4700冊の内、ロケットや宇宙に関連する本が390冊あり、土・日・祝日、年末年始を除く、午前9時から午後5時で利用できます。



式典後の読み聞かせ会

文化財防火訓練



1月20日に無量寺（串本）、30日に成就寺（西向）において、文化財防火訓練を実施しました。町消防署協力のもと、出火時の初期消火から通報、避難誘導、文化財の搬出、放水による消火までの一連の流れを訓練しました。

第71回を迎えた1月26日の「文化財防火デー」前後に行うこの訓練は、火災、震災、その他の災害から文化財を守るため毎年実施しています。近年のフランスのノートルダム大聖堂や沖縄県那覇市の首里城跡といった文化財の火災を受け、文化財等の防火対策が一層推進されています。

文化財を火災から守るためには、火気管理等の出火防止対策を徹底することはもちろんですが、文化財関係者だけではなく、地域住民との連携・協力が必要となります。地域ぐるみの保護活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

●文化財防火デー

昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺で火災が発生し、金堂の壁画が焼損しました。これを機に文化財を火災、震災、その他の災害から守るため、文化財防火運動を展開しようとして毎年1月26日が「文化財防火デー」として制定されました。以来、毎年この日を中心に各都道府県教育委員会、各消防署、文化財所有者等の協力を得て、文化庁と消防庁が連携・協力して全国各地で防火訓練などの文化財防火運動を展開し、文化財愛護に関する意識の高揚を図っています。



成就寺



無量寺



無量寺

「紡ぐプロジェクト」 成就寺「方丈障壁画」修理事業

成就寺が所蔵し、県立博物館が保管する長沢芦雪筆・重要文化財「方丈障壁画」45面のうち、「紙本着色花鳥群狗図」4面と、「紙本墨画唐獅子図」4面の襖絵が、京都国立博物館内の修理所にて修理されています。

「紡ぐプロジェクト」は、皇室ゆかりの美術工芸品や国宝・重要文化財など、日本の美を未来へ伝え、世界へ発信していくために、文化庁、宮内庁、読売新聞社が官民連携で取り組む事業です。

修理中の8面は、日焼けや虫食い等による傷みが進んでいるため、昨年4月に県立博物館から修理所へ移し、本紙表面の汚れを吸い取り紙に移すクリーニングを実施しました。

9月9日に、1回目の進捗状況の確認と修理方針の協議のため、修理を請け負う株式会社松鶴堂の修理所に成就寺大崎住職と文化庁、県教育委員会、町教育委員会の担当職員が集まりました。

確認作業は問題なく終了したため、引き続き裏打ち紙を除去して補修作業に移り、令和8年3月に作業が完了する予定です。

【紙本着色・紙本墨画】

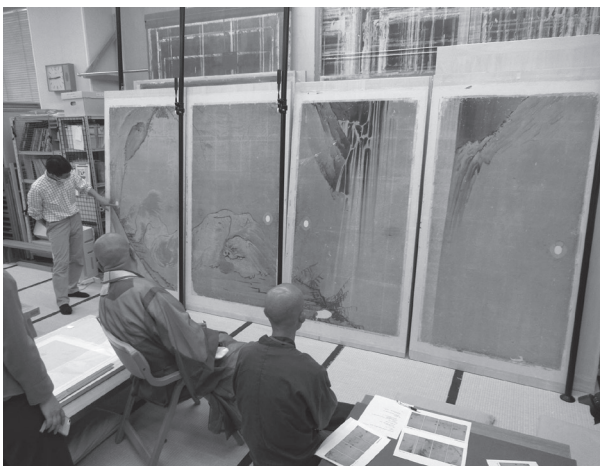
「紙本」は紙に描かれたもの、「着色」は「着色」とも書かれ、色がつけてあるという意味です。また、「墨画」は墨で描かれた絵を表します。

【花鳥群狗図】

この絵には数匹の犬が描かれています。どちらから眺めても犬の目はこちらを向いているように見えます。

【唐獅子図】

森厳な自然を背景に唐獅子が描かれており、単なる写実のみに終始した作品にはない、芦雪ならではの迫力があります。



第24回

和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

令和7年2月9日、和歌山市で

「第24回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」が開催されました。紀三井寺公園陸上競技場から県庁前までの10区間（21・1km）を小学生4名、中学生6名がタスキを繋ぎ健脚を競いました。

松下大祐監督の指導のもと、メンバーは昨年から監督や実行委員の皆さんと共に練習を積み重ね、近隣の大会等に出場した経験を活かし、大会に臨みました。松下監督ほか8名のジュニア駅伝卒業生が実行委員として協力してくれました。



結団式

「昨年のタイムを上回る」という

目標は達成できませんでした。1区から10区まで懸命にタスキを繋ぎ、参加29市町中12位と昨年より3つ順位を上げ健闘しました。

串本町代表として参加したメンバーは次のとおりです。

【市町村対抗オーダーチーム】

- 1区 二郷 孝太（串本中3年）
- 2区 宮本 凜（古座中2年）
- 3区 岡内ちなみ（橋杭小6年）
- 4区 中村 珠菜（串本中1年）
- 5区 山本 大駕（串本中3年）
- 6区 沖 莉乃愛（橋杭小5年）
- 7区 三木 琉聖（古座小6年）
- 8区 松原 咲奏（近大中3年）
- 9区 慶 奏樹（串本小6年）
- 10区 清水 聡友（潮岬中2年）

【オープンの部オーダーチーム】

- 1区 坂本 昊佑（潮岬中2年）
- 2区 浦畑 綾乃（潮岬中2年）
- 3区 柿本めばえ（潮岬小6年）
- 4区 松原 妃奏（近大中1年）
- 5区 濱口 大雅（串本中3年）
- 6区 岡地 凜己（潮岬小6年）
- 7区 谷坂 春真（潮岬小5年）

- 8区 川口 未来（串本中2年）
- 9区 清水 寛太（潮岬小6年）
- 10区 尾崎 暉（串本中3年）

- 矢倉 木鶏（串本小6年）
- 横平 秀人（串本小6年）
- 西野 花（橋杭小6年）
- 高橋 裕人（橋杭小4年）
- 岩見 嘉子（潮岬小6年）
- 澤田 凌成（潮岬小6年）
- 西 優利（潮岬小4年）
- 畑下 大翔（古座小6年）
- 川端 斗真（串本中2年）
- 西 桃佳（串本中2年）
- 西野 凜（串本中2年）
- 東 流輝（串本中2年）
- 山崎 春翔（潮岬中2年）
- 浦畑 翔真（潮岬中1年）



スタート！



串本町ジュニア駅伝チーム

【大会結果】

串本町ジュニア駅伝チーム
第12位（1時間16分7秒）

これまでの活躍

◆新宮市駅伝大会（1月19日）
中学生男子の部Aチーム 優勝
中学生男子の部Bチーム 5位
中学生女子の部Cチーム 2位
小学生女子の部Dチーム 2位

短歌講演・講評会

2月14日午後1時30分から、町文化センターにて、町教育委員会主催による短歌講演会・講評会が開催されました。講演会では、毎日新聞紀州歌壇選者の岸田正幸氏が「短歌を楽しもう」をテーマに春の短歌を中心に紹介しました。町内外から応募のあった54首について、岸田氏に事前に選考していただき、講評を交え入賞者を発表しました。

【特選】

○様子見に還って来たか弟よ青い蜻蛉が庭低く飛ぶ
松下 昭子

○いつか来る津波の恐れを忘れさせ波はゆったり渚を洗う
中西みよ子

○娘に送る野菜に添えし地方紙はカイロスの夢大きく載せて
石垣 実男



【秀作】

○コスモスを乱さぬ程の雨降りて秋はほんわか窓に来ており
西村 良子

○岩肌を緑に包むアオサのり磯で始まる故郷の春
石垣多鶴子

○娘とふたり夕食介助の病室へ夫に短き家族のひととき
米津りつ枝

○高原に尾花おしなぶ風の中自在に心あそばせている
仲川 容子

○亡舅姑のソールフードは秋刀魚寿司今日の土産は一尾で足りる
登地 道子

【佳作】

○父母逝きし齡を越へて姉妹旅まだいくたびが続けむと願ふ
堀口 和子

○一茶の句子供でなくても取りたいと思う十五夜まんまる丸い
田城 澄子

○「けふやな」と無口な夫のつぶやきぬ忘れてをりし二人の記念日
上田 明子

○記録だけ多く残して夏が行き足投げ出せば暑き外縁
岩本 政明

○知らぬまに入りくる蝶が幼子の昼寝の肩に翅をたためり
白藤 巳玲

○乳呑み児は母の鼓動につつまれてオーケストラの「運命」をきく
北野 惣一

○引き揚げの顛末記す古き帖「逃亡記」とあり考の筆あと
村詰真紀子

○トルコ艦の将士のねむる慰霊碑を没り日がいやす紀伊の大島
池中 健一

○「ばあちゃんもそのうち月に帰るのか」そうよと言えば行くなど泣いた
樋口 典子

○友よりの小菊の挿芽夏を越しけさは蒼に色見えそむ
中根寿美子





特別寄稿

地域おこし協力隊

伊藤 靖子

串本町役場産業課にて、地域おこし協力隊として活動しています、伊藤靖子と申します。令和6年6月に、千葉県千葉市より小学生の息子と引越してきました。

地域おこし協力隊とは、総務省管轄で、都市部から地方へ移住することを条件に、それぞれの地域課題の解決に向けて活動する仕事を、1年更新、最長3年間いただけの制度です。各自治体ごとに地域課題は異なるため、例えば、農林漁業の担い手や、地域コミュニティの立ち上げなど幅広いミッションで募集が行われています。串本町では久しぶりの協力隊募集だったそうので、空き家・移住・観光PRというミッションでの募集でした。

私自身は生まれも育ちもずっと千葉ですが、串本町には曾祖母の家があり、幼い頃に何度か遊びにきました。美味しい貝など海の幸に恵まれていて、親戚もたくさん集まっていたいました。海女さんだった曾祖母から、獲れたてのウニを、庭の水場でばかんと割って、しようにゆをかけて食べさせられ、なにかわからないけどすごく美味しかった印象が残っています。また、曾祖母は行事がある日は朝早くから、サンマ寿司

やおいなりさん、おまぜなど、たくさんこしらえていました。

また、祖父を亡くして迎えた高校生の夏、地域のみなさんと一緒に盆踊りをしたのが印象深いです。千葉でもお祭りでは、盆踊りとしてやぐらの周りを回って楽しく踊りますが、串本では初盆を迎えた方をお見送りするために、地域のみなさんで寄り合って踊ります。"盆踊り"の意味を知り、驚いたことを覚えています。

2009年、リーマンショックの翌年に、学習院大学法学部政治学科を卒業し、千葉銀行へ就職しました。当時は特にやりたいことはなく、社会の仕組みや本質、どうしても幸せに生きられるのかに興味がありました。個人顧客向けの営業として延べ800人以上の方と面談し、お金や仕事、家族、趣味、不動産などこれまでの経験や今後の考えを聞きました。年配の方が多く、農家さんからは「農業は人件費なんてない。」「子どもには継がせたくない、自分の代で終わりたい。」「という話を聞き、その他の方々からも、「子どもたちは住宅ローンで組んで新築を購入している。自分が亡くなったら、空き家になる。」「という話を聞きました。相続の相談も多く、相続財産のうち現金が最も喜ばれ、不動産は要らないと言われるそう、その対策ニーズが多かったです。そこで自分自身は家は買わないか、もし買うなら中古と決めていました。たくさんの方の人生の話を聞き、

素敵なご自宅や豊かな通帳を見てきた研究の成果です(笑)

2021年、実母を亡くし、西向の目津地区にある先祖代々の家を相続しました。母がこの家を活用しようと、近所の方のご協力を得て、トイレとお風呂を修繕してくれていましたので、夏休み等の長期休暇を利用して、子どもを連れて手入れにすることができました。草刈りや家の風通しなど手入れをしながら、串本の海や古座川、熊野の山に遊びに行ったり、SNS等を活用して紀南に友人を増やしていききました。千葉から串本まで車で片道10時間。お金も時間も労力もかかりましたが、串本に来るのが楽しみでした。この家で育った方やご縁がある方も生きていらっしゃる中で、家を守りたい気持ち強く持っていました。空き家バンクなども調べましたが、やはり誰かに貸したり売ったりすることはできませんでした。

通っているうちに息子が「串本に住みたいなあ」と言い出すようになりました。私もそうしたい気持ちはありましたが、遊びに行くのと住むのでは全然違う。千葉での生活もあるし、まさか串本に住む日が来るとは思ってもいませんでした。

2024年4月、インターネットで地域おこし協力隊の募集を発見しました。これなら仕事をしながら家の手入れをして、田舎での子育てにもチャレンジできる！今しかない！と、思い

切って応募しました。結果は、ありがたいことに採用でした。不安ももちろんありましたが、あとはもう勢いで引越してきました。

おかげさまで、現在は串本町での暮らしを息子と二人で楽しんでいます。毎日、国道42号を通るたびに、海がきれいで感動しています。自分自身が空き家を相続し管理してきた経験や、関東から移住してきた経験、銀行員時代の相談経験、フリーランス転身後のSNSの活用経験などをフル活用して、現在の業務にあたっています。行政との連携は私にとってあたらしいキャリアです。串本町役場のみなさんとてもいい方々で、ユーモアもあつて楽しい職場です。一方で、ひとりひとりの職員さんが幅広い業務を担当していることを知り、大変だけど町にとって必要でこんなやりがいがある仕事なのかと、目から鱗の日々です。

大量生産大量消費、右肩上がりの経済成長期から、時代もだいぶ変わりましたが、串本町も人口は減っている中ですが、豊かな自然や歴史・文化、地域に根差した人と人との温かいつながりを守りながら、あたらしい時代に合った持続可能なまちづくりへの過渡期かと思っています。私や先祖代々親族が串本町から受けた恩恵に感謝し、住む人ひとりとひとりが幸せなまちづくりに向けて、現在の業務や日々の暮らしを通じて少しでも貢献したいと思っています。どうぞよろしくよろしくお願いいたします。

第20回

町民音楽祭

令和7年3月2日(日) 13:00～(開場12:30)

会場：串本町文化センター大ホール(入場無料)

器楽・詩吟・詩舞・邦楽・踊り・コーラスほか

曲目の載ったプログラムは、当日入場口でお配りします。
(14組出場予定)



主催：串本町／串本町教育委員会／串本音楽協会

教育課よりお知らせ

町民音楽祭 バンドの部

令和7年3月9日(日) 13:00～



曲目の載ったプログラムは、当日入場口でお配りします。(3組出場予定)

図書館より 新着図書のお知らせ



- | | | | | |
|----------------|----------|-------------|---------|-------|
| ◆天国映画館 | 清水 晴木 | ◆あかちゃんごきげん♪ | ギアギア | 新井 洋行 |
| ◆マザー | 乃南 アサ | ◆ノラネコぐんだん | ピザをやく | 工藤ノリコ |
| ◆深海ロボット、南極へ行く | 後藤 慎平 | ◆落語絵本 | 芝浜(上・下) | 川端 誠 |
| ◆親の家が空き家になりました | 葉山 由季 | ◆妖精のあんパン | | 斉藤 栄美 |
| ◆透明都市 | リリア・アセンヌ | ◆直紀とふしぎな庭 | | 山下みゆき |
| ◆ゆうべのヒミツ | 室井 滋 | ◆ねがいの木 | | 岡田 淳 |
| | | | | ほか |